

# 学校経営方針

～学校づくりイメージマップ～  
令和8年4月1日

## 【令和8年度札幌市の学校教育】

- 人間尊重の教育  
一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくり  
⇒子どもと**真摯に向き合う**教育
- 【学習活動づくり】  
・「育てる」から「育つ」
- 【人間環境づくり】  
・相互承認の感度を高める
- 【環境づくり】  
・同質性から多様性
- 知・徳・体の調和のとれた育ち  
(学ぶ力・豊かな心・健やかな体)
- 子ども一人一人の教育的ニーズに応じた支援・教育

## 【学校教育目標】

- 人間尊重の教育を基盤とし、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもの育成を目指して
- ◇自ら考える力を培う 主体的で創造性豊かな子どもを育てる (知)
  - ◇自然や人間に愛情をもつ やさしく思いやりのある子どもを育てる (徳)
  - ◇健康や安全に留意する 強い心とたくましい体の子どもを育てる (体)

### ★めざす学校像★

つながりを大切に、**一人一人**が自分らしく「**一步前**」へ進む学校

### ★めざす子ども像★

かしこい子・やさしい子・たくましい子

## 【令和8年度の重点目標】


# 「チャレンジ&スマイル」～一人ひとりが主人公～

- ★チャレンジ (一步前・自分らしさ) ……主体性・自己決定⇒自己肯定感
- ★スマイル (つながり・認め合い) ……挨拶・相互承認⇒自己有用感

## 全ての教育的活動の土壌としての**心理的安全性**

- ・対話の重視：否定されない対話
- ・失敗の受容：「ナイス・トライ」を合言葉に 失敗ではなく「成長体験」
- ・尊重の姿勢：子どもの強みに着目したフィードバック

## 【学校課題～アンケートより】

- 子どもの声
- ・「笑顔」「挨拶」「元気」
  - ・「遊ぶ」「楽しく」
  - ・「他の学年と」「交流」
  - ・「学校をきれいに」
  - ・「相談できる」「助けてもらえる」
  - ・「かしこくなりたい」
- 

## 西岡北中学校パートナー校区 CS

### 【西岡北中学校区重点目標】 ほほえみあう西岡の子ども

- ・小中の自治的な活動推進  
(児童会・生徒会交流)
- ・子どもの自治的な活動を実現する学  
運協での熟議
- ・地域とつながる～総合的な学習の時  
間、生活科の充実
- ・9年間の学びをつなげる～引継・交流
- ・学校と保護者・地域は共に子どもを育  
てるパートナー

## かしこい子

かかわり ひろがり ふかまる かしこい子

- ◆自分の考えをもち、表す子
- ◆主体的に学ぶ子 (自己決定・多様な学び)
- ◆友達の考えのよさを認め協働的に学ぶ子  
(相互承認)
- ◆自らの学びを関連付けてまなびを深め、変容  
を実感する子 (自己肯定感)

## やさしい子

ひろがる笑顔 やさしい子

- ◆思いやり・感謝・尊重を大切に人と接すること  
ができる子 (人間尊重・いじめ防止)
- ◆友達やクラス、学年、学校のために活動する子  
(自己有用感・自治的活動)
- ◆自分や友達のよさを認め、違いを受け入れる  
温かい心をもった子 (自己肯定感・相互承認)
- ◆自分から挨拶する子

## たくましい子

しなやかな心と体 たくましい子

- ◆体を動かすこと(休み時間遊び等)を好み、進  
んで体を動かす子ども
- ◆進んで自分の生活をコントロールする子 (自  
立)
- ◆苦手なことや困難なことに直面しても挑戦し続  
ける、しなやかな心(レジリエンス)をもった子  
ども

「この子をどうしよう」  
↓  
「この子に何が必要か」

「わからない」「できない」  
分からなさ、困りを聴く

# 全ての教育活動に特別支援教育・ピア活動の視点をもつ 6年間で子どもを育てるための全員で同じく進める教育活動



**学年・学級**  
○人間尊重・心理的安全性の確保(認める>褒める)      ○プロセスや挑戦を評価し伝える。  
○自己選択、自己判断、自己決定、自治的な活動の場  
○教科担任制・担任交換授業(特別支援学級も含め)を通し、学年・学校で子どもを育てる  
○「苦登校」対策としての学び・環境へのUDの視点をもった教育活動の推進

**カリキュラムマネジメント**  
・年間を見通すための効果的な教育課程見直し、精査、引継  
・ICT活用など、多様な学びの充実  
・共通指標、各種アンケートの結果の活用

**学ぶ力育成**  
・基礎学力の定着  
・学習の土台作りとしての学びの環境整理  
・課題探究的な学習  
・日常の授業改善  
・学ぶ力育成プログラムの作成・活用

**豊かな心育成**  
・自分からできる挨拶の定着  
・委員会活動の取組の工夫  
・自治的な活動の推進(プラスのまほう)  
・各活動で培う支え合い、認め合いの醸成

**健やかな体育成**  
・体を動かす場の設定、保障  
・SSTを取り入れた学活の時間年間計画  
・健やかな体育成プログラムの作成・活用

**子ども支援**  
・特別支援教育コーディネーターを核とした取組  
・子ども支援会議の定例化  
・各委員会(いじめ・子ども支援)での対策のロードマップ作り

◆学びの積み上げ  
・学び方、学習規律、生活のきまり、人との関わり方(自分のためにもなり、他人のためになる行動)  
◆5回の学級編制に耐えられる取組  
◆指導と評価の一体化

## チームで響きあう

**【土台としての心理的安全性】**  
・雑・相の日常化:相談未満のつぶやきを大切に  
・「わからない」の称賛:弱みを見せ合える関係性の構築  
・脱「教室マルトリートメント」:指導の効果的な言語化  
評価ではなくサポートとしての相互参観

**【推進力としての教育改善への余白づくり】**  
・業務の見直し、効率化:会議等のICT化・非同期化  
・業務量の均等化:学年担任や校務の見える化  
・心身のリフレッシュ:勤務時間インターバルを意識

**【結実としての教育の質の向上】**  
・アップデートのための研修:校内、校外問わず自ら学ぶ  
・勤と経験の言語化・伝達:経験・知恵と創造性  
・先手必勝の危機管理:2,3手先を読んだ組織的対応  
ヒヤリハット報告のハードルを下げる  
・個別最適な学びの実現:個の歩みに合わせた対話・支援

「幸せな大人」として、子どもたちの前に立つ  
～「先生、今日は楽しそうだね」の一言が、最高の評価～